※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	１単位	年次	２年前期
使用教科書	詳述　公共　（実教出版）						
副教材等	ズームアップ　公共資料　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「倫理」「法」「政治」「経済」それぞれの分野における自立した主体としての意識を育むことができる内容である。
・基礎的・基本的事項は，資料・図版などとともに，教科書に詳しく、深く記述されている。
・主体的・対話的で深い学びや課題探究学習などの学習活動を、単元ごとに行う。また，web 参照資料，原典資料や判例，グラフや図版などを，主体的な学習に活用していく。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
公民の基礎的な知識や技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
公民に関するさまざまな問題について主体的に考え、解決方法を考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
他者との議論において違った意見にも耳をかたむけ、様々な観点を取り入れて思考を深め、自らの意見を発表することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・国際政治や国際経済の諸課題の解決に向けて、選択や判断の手掛かりとなる考え方や資料を集め、多面的、多角的に考察することができる。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的、積極的に解決しようとする。 ・多面的、多角的な視野をもち、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方について主体的に考えることができる。
上に示す観点に基づいて、評価し、学年末に５段階の評定とする。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	公共の扉　倫理　政治	・私たちの人生と社会 ・青年期の心理と課題 ・哲学の始源と発展 ・義務論と功利主義 ・生命倫理と環境倫理 ・近代的に人間像 ・国家社会と人間性	a: 青年期の特徴と発達課題、様心の在り方について理解し、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる生き方についての思索を深める。 ｂ：哲学の学習を通して、人間としての在り方生き方や宗教や芸術のもつ意義について協議し発表できる。 ｃ：日本の思想が風土や伝統、外来思想の影響を受け、形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる在り方生き方について自らの考えをまとめることができる。	グループ協議、発表用紙、ワークシート	グループ協議、発表用紙、ワークシート	グループ協議、発表用紙、ワークシート
	よりよい社会の形成に参加する私たち	・近代国家と立憲主義 ・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の三原理と人権保障 ・グローバル化と国際人権	a: 近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察し理解する。 ｂ：日本国憲法の成立の経緯について理解を深め、三つの基本原理を踏まえ、日本をめぐる国際関係について考察する。 ｃ：政治制度と関わりで個人の尊厳、自由、平等などの人権がどうあるべきか考察し、理解を深めている。	考査、グループ協議における発表	考査、グループ協議における発表	グループ協議における発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度